

研究課題名

Staphylococcus属菌における病原性因子の探索

研究の概要

Staphylococcus 属菌は50菌種以上に分類されており、ヒト、家畜を含む哺乳動物、鳥類などの皮膚や鼻腔などに存在している。また本属の一部の菌種はエンテロトキシン(SEs)と呼ばれる毒素を産生し、食中毒や化膿性疾患に関与している。食中毒起因菌としては、*S.aureus* が広く知られているが、2010年には都内で、*S.argenteus* による食中毒が発生している。また、*S.pseudintermedius* 及び*S.hyicus* においてもSEs産生株が存在することが報告されている。

本研究では、食品や臨床検体等から分離されたStaphylococcus 属菌を調査し、se 遺伝子保有株を探索する。また、*S.argenteus* の分離率を明らかにする。得られた株について、SEsの産生能や産生量の調査、詳細なゲノム解析を実施し、新規毒素因子の検索及び同定を行うことで、細菌の保有する病原因子を解明し、感染症や食中毒の原因究明に活用できる。

研究期間

令和3年度から令和5年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター
所長 吉村 和久

研究責任者の氏名

微生物部食品微生物研究科
小林 真紀子

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。